用度伺濟
明治四年十月ヨリ十二月マテ
全
東京帝國大學庶務課
2
五十年史料
221

明治四年十月ヨリ十二月マテ

用度伺済

一古材木

一古綿入衣　十六枚

但シ従来施療院ニ之品

一古襦袢　五束メ

右同断

一古蒲団　弐百枚

一古尾　四十坪程

右極テ粗物ニ而使用途無之品ニ付御払下ケ相成候而も如何可然哉相伺候也

辛未

十月廿日

當校書生舎修繕入札申付候處用達村林久左衛門廉價ニ有之則仕組直段積リ被相廻し申候ニ付至急之事件ニ有之早々御評決有之度候也

辛未

十月廿日

東校

本省
御中

本省
御中

東校

修繕之儀村林久右衛門江
ニ申付候事

十月廿日　本省

木品桐板ニ而出来
表ケこドも蓋隠宗分

壱棹

右者器械入用有之至急出来方之儀也

辛未

十月廿日　東校

本省

御中

月日ヨリ日迄賄飯

金　薬餌料

右之通正ニ上納候也

月日　何誰印

月　日ヨリ　日迄　飯　　　　薬餌料
金
月　日ヨリ　日迄　飯　　　　附添人寄宿料
金
月　日ヨリ　日迄　日　　　　着病人寄宿料
金
合金
右之通迄ニ上納候也
月　日
内訳　　　　　　　何誰
金　　　　　　　　附添人賄料　下

同　　　　　　　　着病人同
合金
引残上納高
金

月　日ヨリ　日迄飯
金　　　　薬餌料
月　日ヨリ　日迄飯
金　　　　附添人賄料
合金
右之通正ニ上納仕候也
月　日　　　　何誰　印
内訳
金　　　附添人賄拂下
引残上納高
金

月　日ヨリ　日迄飯
金　　　　薬餌料
月　日ヨリ　日迄　日
金　　　　看病人賄料
合金
右之通正ニ上納仕候也
月　日　　　　何誰　印

引残上納高
金

内訳
金
看病人
賄料下

当分別紙之通ニ而可然哉之事
以為ヲ伺事

東校教師雇入之義ニ付願

今般学制御改革ニ付於東校預科教師之儀
現今開校之節願済之上是迄之通従来於同校ニ雇入
ニ相成居候独逸医師ミユルス之儀本月十日ヲ以条約
期限ニ満候間兼而御願置候通学国ヘ語科教
師ニ雇入相成候迄ミユル之儀更ニ条約ニ取結
雇入申度候依此段奉願候也

辛未
十月十七日　文部省

正院
御中

司馬中教授

右者御用有之横濱表江差遣候条一泊二食之割合を以て定額之旅費御手元ニ而御渡し有之候様致度候也

辛未

十月十七日

東校

本省

御中

申出之通

一　椅子　五脚

右者本第局之用ニ付新規申付候ニ付一ヶ所相成候間

申上候也

十月十八日　　本校

本省

御中

別紙之通早束至急御覧上申候也

辛未
十月十二日　　東校

本省
御中

追而寺町水徳屋ト申書林ニ申シ合セ候

一飯臺　八脚

右ハ書生舎用ニ而先般從本省御廻ニ相成候處食堂据置候ニ付寒サ之向生食難儀ニ付舎長より申出候ニ付高足飯臺前般之通新調仕度候間入札申付候處建具屋石藏廉價ニ付請負進達仕候也

辛未
十月廿日　東校

本省
御中

上野教師館ホフマン住居之内近々更ニ家具等雑
渡ニ付格子障子新規ニ為相設間此場ニ立合標写
カヽヘ候ニ付未様在来古障子切詰之余紙洗ニ而
両御廊下両戸上標写張之ま紙張障門を残
且モルレル住居之内カツヘル煙筒之儀ハ漆塗ニ而
壁付之分石押之儀外ニ自家カツヘル其外煙
筒石押之儀且其ノ様両人ヘ伺積ニ付此段申候
間合也

辛未

十月十七日

東校

本省
御中

申出之通

下ケ札

上野薬師館内湯伝掛紙

お取扱之也

伺之通

元入用見積り

硝子障子ホヤ相直シ弁

六本之代

一 銀壱百八匁

〆

但壱本ニ付

拾八匁

一 銀百弐拾五匁

カツヘル煙出シ新規之事

五人 石附造ル

一 銀弐百匁

カツヘル石墨新規之事

〆

花煙突石擇

一 銀七拾八匁

雨戸上張替 拾枚 紙張

〃　　　　　池ノ内
　　　　　但差白拾壱ヶ
一 眼鏡壱ヶ　　間内藤方上等西洋手拾銭
〃　　　　　文紙張近仕方
　　　　　但差白拾五ヶ
一 眼鏡三ヶ　　カツヘルニ漆喰塗殊し
〃　　　　　手前代三ヶ月
〃 眼鏡壱圓百三拾壱ヶ
此金高拾壱円ト諸入ヶ

眼病検査鏡　一具
右者診察所ニ於テ教師ニ用眼病ヲ視察スルニ不可欠之品ニ付買入方之儀存候也
辛未
十月廿三日
東校
文省
御中
追テ横濱表ニ於テ価格拾円五元之旨ニ而

右ハ民中開且ハ實ニ人ヽ方今必要ニ付當同氏著述
致出版申候

申出之通

文部省印

虎列剌論

許

石黒少助教譯述

大史局

右活字製本ノ為メ致存候ニ付至急検查
有之度此段申入候也

辛未六月十日

大學東校

大史 御中

印

開板之儀承届候
刻成之上弐部上納
可有之事

辛未六月　大史

来ル十五日ヨリ開校之事
但本科生斗リ豫科生開業ハ
追而掲示候事

伺之通

文部省印

別紙之通東黌二階廊下ニ於テ玉泉小繕申
付ノ筈候也

辛未

十月十五日　東校

本省

御中

先般伺済之南校ニ而寄宿修繕致し候家屋
於當大丞殿も図面相掛候処未決ニ付別
紙図面ニ而御廻申候也

辛未
十月十五日　　南校

本省
御中

伺之通

覚

一 東屋二階并下結九
　但し障子張替壱張かへ結大工并
　人足共掃除迄込
　代銀六百五拾五匁

右之通り御座候　以上

未
　十月十五日
　　　　　　村林久右衛門

御役所様

覚

一北蔵南蔵少損繕箇所諸修復

　但瓦并竹壁塗替其外所々繕

　壁張其外共

代銀七百六拾匁

右之通り御座候以上

未

十月十日

村林久兵衛

御役所様

教師診察所入用ニ付至急出来致度則別紙繪図面入用書共相添此段相伺候也

辛未

十月廿七日　　東校

本省

御中

教師診察用臥牀之図
アミタン
申出之通
文部省印

右趣作出来上り
代金七両弐分弐朱也

教師教場入用ニ付至急出来候様別紙絵図
面入用之品御渡候様御頼候也

辛未
十月廿七日
東校

本省
御中

申出之通

箱渡板九寸人ヶ脚ニ而
長三尺
惣体松板割ニ而
出来之事

覚

長三間
巾弐尺五寸　但杉板割大丈夫
高サ壱尺
代銀百五拾匁
右之通ニ御座候以上

未
十月廿六日　村林久右衛門

御役所様

文部省中種痘局ヲ設ケ免許分苗其他種
痘悉皆ニ事個ニ関スルノ官員二人ヲ置ヘシ其他
ニ府縣病院アルノ地ハ暫ク其院中ニ於テ同様
取扱ニ員ヲ置ヘキ事
従来文部省ニ於テ種痘ノ免許ヲ受ル者自今
自宅或ハ他ニ於テ社ヲ結ヒ相當之謝義ヲ受ケ
恃ク其術ヲ施行スルヲ許ス
免許ヲ受ケ其術ヲ施行イタスモノ其苗ヲ断
絶セシムルヲ許サス
自今種痘医入門ノ義ハ免許医ノ門ニ入リ其術
ヲ傳習ニ然ル上免許ヲ受クベシ
　免許ヲ得ルノ手續ハ其師ヨリ許可ノ據

其医ノ管轄廳ヘ達シ其廳ヨリ文部省
ヘ願出ヘキ事
遠陽諸縣ヨリ分苗願出候節ハ其通免許医ヘ
相達シ相當ノ價ヲ以テ賣ルコトヲ許ス
尤便宜次第免許医ノ宅ニ於テ賣渡スコ
モ勝手タルヘシ但相當ノ定價預メ立ヘ
キ事

辛未　十月十五日

下
種痘医免許状及分苗取扱之儀ニ於
ケ東校種痘局ニ八ノ定日相立為取扱可

九
申了

伺之通

文部省印

別紙器械教諭必用ニ有之候ニ付御注文ニ相成候処当
教師ヨリ申出候ニ付御買上ニ相成度依而注文
ニ相成候事即ハ為手附代金十分之一可相渡旨申
聞候間右至急御評議有之度候也

辛未
十月廿七日

東校

本省
御中

學校必用注文品 大概價

巴理ヨリ

品名	價
紙塑人頭半截	五十円
紙塑頭腦	二十五円
紙塑関節離開	六十円
紙塑骨節距離	百二十円
紙塑関節附麗	三十円
紙塑人頭関節離開	五円
紙塑人頭眼耳解剖	十円
紙塑関節靱帶	五円
紙塑上肢	六円
紙塑下肢	六円

藥品見本　六十円
乾腊本草　六円
動物見本　八十円
伯靈ヨリ
大眼鏡一揃　二十円
瓦爾華器械　六十円
電氣空流器　六十円
惣計五百九十三圓也
内
金六十両
辛未十二月四日渡ス

アキン氏著内科書　一部
右當局備用度被成候ニ付買上方之儀取計候也
辛未
十月廿五日
東校
本省
山中

ハルツホールン醫学撮要　二部

右外員生教場入用有之至急御買上相願度候也

辛未

十月廿日　東校

本省
御中

願之通

文部省印

一九四八九　一四

右者傭科教師ニモ無之ニ付貸渡シ之居宅ニ備
置之迄ニ寒威甚敷何分難堪旨申出候処外
教師同様ノ貸渡シ有之ニ付右之通相成候貸
館モ居宅ニ附属之ノ品ニ付至急御買
上相成候様致度也

草案

十月廿九日

東校

本省
御中

願之通

文部省印

近日横濱ニ於テ賣却候安經ニ策ノ事

申出之通

文部省印

一硝子板畫　八枚

右上野教師館ニ自泉鳥乱入畫破壊仕候
至急乃便濮ノ節ニ被存候也

辛未
十二月七日

東校

本省
御中

教師獲衛兵迄ニ人ニ而教師ニ人ニ壱人附属
為し居候得共休暇中ニ付ニ人至急増員者
筆生様ニ而此段御伺候也

辛未
十二月　　東校

本省
御中

申出之通

伺之通

此門当術

飯田盛孝

右教法及度術ニ付採用相成候也

静岡縣士族

元等外四等

山口光右

右化門等術ニ付採用相成候也

太鼓　一ツ

價金貳両三分

右ハ教場ニ而用候ドラ被損有之急ニ買上
御承請存候也

辛未
十二月廿七日

東校

本省
御中

ゴットフリードキユルテ氏著

獨乙文典　六拾五部

但シ壹部ニ付價金貳分ツヽ

右ハ預科教場入用ニ付至急御買上相成候様致度

辛未

十月廿九日　南校

追而書籍ハ書林瑞穂屋ゟ為差出候事

申出之通

願之通

別紙之通上野山内用地之儀ハ盗伐等之者有之余リ
候枝ヲ拾集候趣ニ付地主高階善二郎ヘ懸ケ
之通リ向後之所厳重ニ相成候様之義ニ付而
御達候而可然被存候事

辛未

十二月十二日　東校

本省
　御中

伺之通

上野町弐丁目岩次郎地借豊吉ゟ御届申出候東校
御用地上野山内ニ而枯枝ヲ取集メ居候ヲ御差
留有之御押ニ而改候處鉞ヲ携居候ニ付無余
枝ヲ拾取リ候子ニ付御返給ハ被下候段申出候
御頼ヲ蒙り此段及御掛合候也

十一月九日

上野役所詰
警衛
横山又二

東校
御役所中

昇降ランプ　一ツ
價凡金六七圓位
右ハ教場暇雨診察用ニ有之至急御買上度此
段相伺候也

辛未
十二月　東校

本省
御中

伺之通

文部省印

當校入費之義詳細取調候處元來之病院附屬之分も相混居候ニ付多少之圖り增減有之一定之額難相立候ニ付先凡一ヶ月金千八百圓を以概算之事ニ致尚精々減省候様ニ掛出納之仕度此段奉伺候也

辛未 十月廿二日

東校

本省 御中

ゴットフリードゴルチ氏著
獨乙手引草　六拾部
價金貳拾六圓五十錢
右者獨乙科教場入用有之候間御買上之上御出方御取計
相成度
此段相伺候
辛未
十二月十五日　東校
本省
御中

本省見込も有之候得共
先般申出之通取計
可申事

文部
省印

別冊之器械代料未書分三百弗之内百五拾弗ハ當校之分ニ有之候處大阪醫学校ニ於テ取留ニ成居ヲ再ヒ掛合有之候處百五拾弗ハ当校ヨリ相拂ニ成候間至急御渡取斗ニ有之度候也

辛未

十二月廿二日

東校

本省

御中

申出之通

大坂医学校ヘ和蘭商社ヨリ送来ル塞子硝子
器之勘定目録之写

一 弐キユルラン 四十セント 塞子 一百
一 四キユルテン 八十セント 同 弐百
一 四キユルテン 六十セント 同 弐百
一 四キユルテン 六十セント 同 弐百
一 六キユルテン 三十セント 同 三百
一 四キユルテン 八十セント 同 三百
一 三キユルテン 九十セント 同 三百
一 三キユンテン 六十セント 同 三百
一 三キユンテン 三十セント 同 三百

一 三キユルテン 墨子 三百
一 弐キユルテン七十セント 同 三百
一 壱キユルテン二十セント 同 弐百
一 六キユルテン 試換管建 六ツ
一 弐キユルテン四十セント 器及諸メ
一 三キユルテン三十六セント 硝子漏斗 九ツ
一 壱キユルテン十三セント 仝上 拾壱
一 五キユルテン八十二セント 蒸發瓶 弐十四
一 拾五キユルテン七十セント 仝上 拾弐
一 弐ギユルテン六十セント 器及諸メ
一 九キユルテン 試換器 三百
一 四キユルテン弐十セント 仝上 百五拾
一 壱キユルテン八十セント 仝上 五拾

一 三十七セントト半 仝上 弐拾五
一 壱キユルテン十弐セントト半 仝上 弐拾五
一 壱キユルテン八十五セント 酒精燈 四ツ
一 四キユルテン五セント 仝上 六ツ
一 三十七セントト半 燈心 壱包
一 十三キユルテン三セントト半 ウオルフ壜 拾弐
一 五十三キユルテン弐十セント 碧紙 百弐十五
一 四十キユルテン四十弐セント 濾紙 七十五
一 三十キユルテン三十六セント 硝子スホイト 二十四
一 六キユルテン七十セント 硝子管 五
一 壱キユルテン八十セント 硝子蒸發皿 九
一 七キユルテン四十セント 器及諸メ
一 弐百三拾キユルテン八十九セント

此分大阪医学校分

一 弐百三千キユルテン八十九セント　同上

合四百六拾壱キユルテン七十八セント

一 弐拾三キユルテン九セント　覧観料五割

一 五キユルテン九十四セント　積込入用

一 壱キユルテン弐十壱セント　莚賃

一 弐十四セント　大雜請合賃

一 十七ギユルテン八十八セント　アツシユランシー請合

一 壱キユルテン五十セント　ポリス

一 八十四キユルテン　運賃

一 弐十九キユルテン七十八セント　口銭五割

総計 六百弐拾五キユルテン四十弐セント

一千八百七十年第二月廿二日

アムステルダーム

一千八百七十年第四月第六日　エスエヱレオ

一 総計 六百弐拾五キユルテン四十弐セント

此キユルテン弗ニ替

弐百五十弗 十七セント　但壱弗ニ付弐キ半替

一 弐十弗 壱セント　八ヶ月割之一ヶ月分

一 十四弗 八十弐セント　兵庫雑費

一 十五弗　三百弗ニ付五分割

総計 洋銀三百弗

内 百五十弗 東校分
百五十弗 医学校分

一 千八百七十一年第九月二十二日

去ル九月二日後罷ニ弁事當役解剖場ニ而廻了候
旧土木少令史石黒諦四郎遺屍御下付之儀親
族原田農上申者中出候趣ニ松本縣令御令
有之候旨先達兼刑屍下付之儀御部省ヘ申上候
之事ニ而右者刑後之事ニ候得共下付し
不相成旨ニ而司法省御部省ヘ写差出候
御承候此段申進候也

辛未

十一月廿二日　東校

本省
御中

申出之通

追而申進候、解剖［illegible］時々［illegible］中［illegible］学生
埋葬［illegible］
［illegible］候也

伺之通

文部省印

通学生徒定則

一毎月五ノ日ヲ以テ入門日トシ学科期限ヲ三年ト定ム

教場

一隔日解剖学講義　　小林恒堂

全體新論

一隔日人身窮理講義　　八杉作造

生理発蒙

右両条共毎日従一字二字迄

一内科講義　　長谷川大助教

ニマイル内科学

右一周間二會従九字十字迄

別紙之通願出候間願之通取計候而宜敷候哉此段相伺候也

辛未

十二月廿日　　東校

本省

御中

伺之通
文部省印